

キャラクター名
狩屋 当真

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ ハヌマーン		ワークス	ボディガード	カヴァー	探偵助手
	オプショナル		年齢	28	性別	男性
覚醒	憤怒	衝動	妄想	初期侵食率	31	%
出自	親戚と疎遠	経験	喪失	邂逅	貸し	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	1	0			5	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	3		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:	2		芸術:			知識:			情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
マイナー 【隠殺の爪】 《完全獣化》Lv.3+ 《破壊の爪》Lv.1		0				【肉射】を使用した時のダメージを+1[Lv]2倍、武器作成（種別：白兵、技能：白兵、命中0、ガード1、攻撃力+1[Lv+3]、射程：至近）
メジャー 【フェニックスの爪】 《コンボシステム-1077-7》Lv.2+（飛）						C値を-[Lv]（下限は7）、全力移動後攻撃
メジャー 【隠殺の爪】 《コンボシステム-1077-7》Lv.2+（飛）						C値を-[Lv]（下限は7）、攻撃対象を範囲（選択）に変更、シナリオ中[Lv]回のみ
メジャー 【隠殺の爪】 《コンボシステム-1077-7》Lv.2+（飛）						C値を-[Lv]（下限は7）、攻撃対象を範囲（選択）に変更、攻撃力+1[Lv*10]、判定のダイスを-5個、シナリオ中1回のみ

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
旧自宅	P 憧憬	N 恥辱		
六法全書	P 尊敬	N 隔意		
羅刹 (タイラント)	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 武器作成（種別：白兵、技能：白兵、命中0、ガード1、攻撃力+[Lv+8]、射程：至近）								
完全獣化	3	6	マイナー	至近	単体	自動	-	
効果: 使用したシーンの間、【肉体】の能力値を使用したあらゆる判定のダイスを+[Lv*2]する。持続中は素手を除くアイテムの装備・使用不可								
コンセントレイト	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値を-[Lv]する(下限は7)								
一閃	★	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 全力移動後に白兵攻撃を行う								
獅子奮迅	2	4	メジャー	武器	範囲(選択)	対決	-	
効果: 白兵攻撃の対象を範囲（選択）に変更する。シナリオ中[Lv]回まで								
マシラのごとく	3	5	メジャー	-	単体	対決	80%	
効果: 組み合わせた攻撃の攻撃力を+[Lv*10]、判定のダイスを-5個する。シナリオ中1回のみ								
軽功	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 壁や水面でも走れる								
蝙蝠の耳	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 聴覚を拡大し、極小の音や超音波、超低周波を聞き分ける								
猫の瞳	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 暗闇を見通せる								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

<3行説明>
探偵事務所お抱えの読書好きなボディガード。一見大人しく淡泊だが一度怒るとずっと根に持つタイプである。人間不信の気があり見ず知らずの人間と踏み込んだ話をするのが苦手。戦闘時は大きな狐と狼が混ざったような異形となって眼前の障害物を蹴散らしにかかる。

<詳細設定>
薬師丸丑宝事務所支部に所属する探偵助手かつ自衛護衛役。読書にハマるたちで深夜まで読みふけていることが多く、目の下のクマがなかなか消えない。お気に入りには推理小説。

シンドロームは「キュマイラ」「ハヌマーン」。後述の実家でのトラブルによる自身の無力さ、将来に対する絶望や孤独への恐怖から絶大な筋力をもって障害物を叩き砕く力を手に入れた。戦闘に不慣れだった最初こそ力任せの動きが多く、辺り一面を瓦礫の山にしてしまうことも多かったが、現在では度重なる鍛錬の成果もあってが割とコントロールが利くようになりつつある。もともと、最終目標たる「自分自身と安住の地、そして本当に守りたいものを守り抜くためだけに力を使えるようになること」までにはまだ遠いが、身体的には強いものの、妬みつらみを忘れられない、落ち込むと引きずるなど精神的に脆い面もあり、特に衝動への抵抗力には難がある。壊すこと以外にも高所からの索敵・暗闇での警戒が得意で殲滅や偵察にはめっぽう強い。反面細かい作業や調査は苦手。オフではもっぱら力仕事担当である。

元々は読書好きが高じてとある図書館のスタッフを務めていたのだが、図書館の廃業に際してあえなく解雇を言い渡され、同時期に家の土地を詐欺師に騙し取られたことで一気に職ナシの素貧乏になってしまった(家族はその際家財を持って夜逃げしている)。その後なげなしの所持金と数冊の小説や法律関係の書物(いずれも解雇の際に図書館の蔵書を譲り受けたもの)を持って路頭に迷っていたところを事務所の支部長に拾われ、そのまま転がり込んで現在に至る。